

平成19年度公募要領等説明会

平成19年2月23日(大阪)、2月28日(東京)

特色ある大学教育支援プログラム  
現代的教育二一ズ取組支援プログラム

平成19年度の申請について

---

文部科学省高等教育局

---

# 特色ある大学教育支援プログラム 現代的教育ニーズ取組支援プログラム 平成19年度の申請について

## 目 次

1. GP (Good Practice)について	1
2. GPに共通する3つの特徴について	1
3. 特色GPの公募について	2
(1) 目的	2
(2) 募集の対象となる取組	2
(3) 募集の対象外となる取組	3
(4) 申請件数	3
(5) 選定件数	3
4. 現代GPの公募について	4
(1) 目的	4
(2) 募集の対象となる取組	4
(3) テーマ及び申請件数	4
(4) 選定件数	5
(5) 募集の対象外となる取組	5
(6) 地域再生計画との連動	5
5. 要件違反等	6
(1) 形式的要件違反	6
(2) 申請要件違反	8
(3) 申請内容の重大な誤謬等	8
(4) 要件違反等の防止	8
6. 取組名称等の公表について	9
7. 選定後の情報提供について	10
8. 財政支援について	11
(1) 平成18年度申請額	11
(2) 使用できる経費	11
(3) 使用できない主な経費	12
(4) 補助金の交付手続き	13
(5) 初年度の経費の積算	13
(6) 補助事業者	13
(7) その他	13

# 1. GP (Good Practice) について

Good Practice (グッド・プラクティス) は、近年、国際機関の報告書等において「優れた取組」という意味で幅広く使われており、諸外国の大学教育改革でも注目されている言葉です。

「特色ある大学教育支援プログラム」及び「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」は各大学等が工夫を凝らし、他の大学等でも参考となるような優れた取組を取り上げるということで、「特色GP」、「現代GP」という通称で呼んでいます。

# 2. GPに共通する3つの特徴について

## ○競争的環境

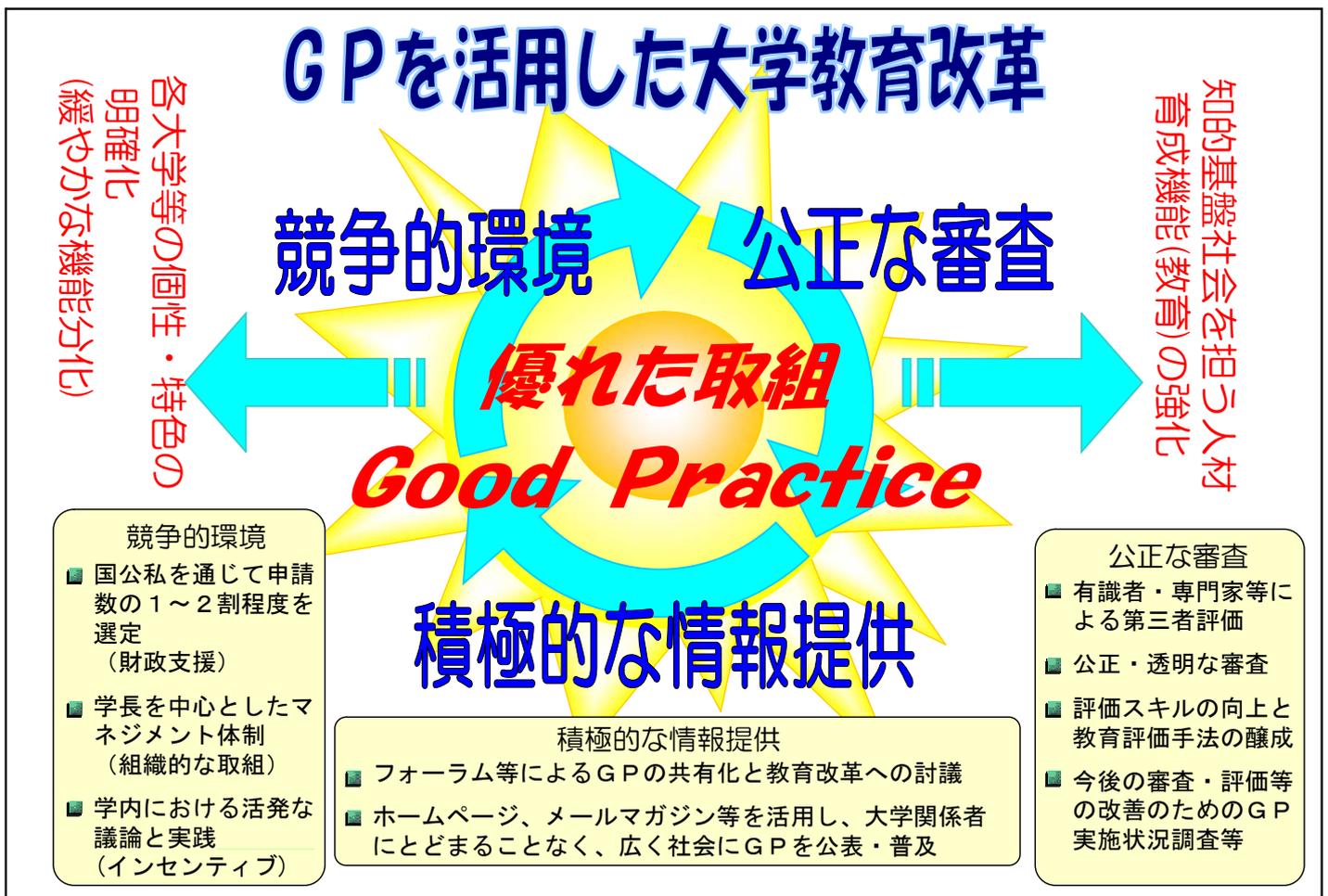
国公立を通じた競争的環境の下での公募・選定の実施

## ○公正な審査

専門家等による第三者評価による公正な審査

## ○積極的な情報提供

選定された取組等の社会への幅広い情報提供

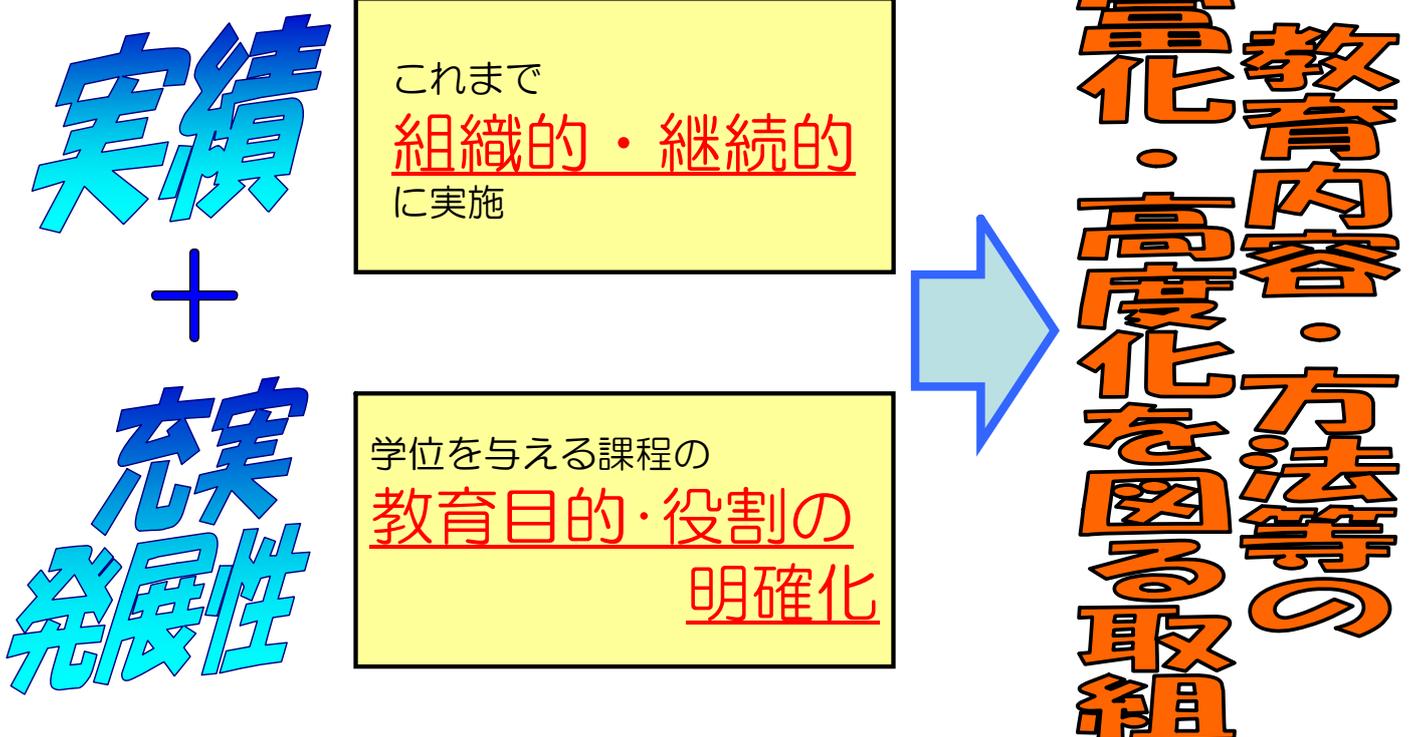


### 3. 特色GPの公募について

#### (1) 目的

大学教育の改善・充実の観点から、学位を与える課程に応じた、教養教育や初年次教育の展開、FD活動の充実等を含め、教育内容・方法等の高度化・豊富化に資する特色ある優れた取組を選定し、選定された取組を広く社会に情報提供することや財政支援を行うことにより、大学教育の改善を図るとともに、高等教育の活性化を促進することが目的です。

#### (2) 募集の対象となる取組



### (3) 募集の対象外となる取組



- ① その大学・短期大学において、過去に他のプログラムで選定されている取組及び過去に選定され取組期間が終了した取組と同一又は類似の取組
- ② その大学・短期大学において、特色GP以外のプログラムに申請を予定している取組と同一又は類似の取組
- ③ 大学院や専門職大学院の取組  
〔「大学院教育改革支援プログラム」及び「専門職大学院等教育推進プログラム」を実施〕

### (4) 申請件数

各大学・短期大学は、次の申請区分にそれぞれ1件申請できます。  
複数大学等の共同の取組であっても、各大学等の学位を与える課程の教育目的・役割の明確化による更に充実・発展する当該大学等の単独の取組として申請してください。

申請区分	細区分	補助事業上限額／補助金基準額(千円)	財政支援期間
学士課程	・教育課程の工夫改善を主とする取組 ・教育方法の工夫改善を主とする取組 ・上記以外の教育の工夫改善に関する取組	27,000／16,000 (単位:千円)	2～3年間以内
短期大学士課程			



### (5) 選定件数

申請件数の15%程度

## 4. 現代GPの公募について

### (1) 目的

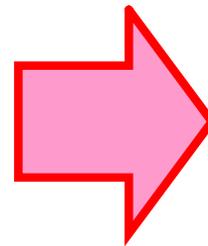
各種審議会からの提言等を踏まえ、社会的要請の強い政策課題に対応したテーマ設定を行い、各大学、短期大学、高等専門学校から申請された取組の中から、特に優れたプロジェクト（取組）を選定し、選定された取組を広く社会に情報提供することや財政支援を行うことにより、これからの時代を担う優れた人材の養成を推進することが目的です。

### (2) 募集の対象となる取組

**新たな  
教育改革  
+**  
**確実な計画**

各テーマの趣旨・  
目的にそって  
新たな教育改革

学長の  
マネジメント



**時代を担う優れた  
人材養成を推進する取組**

### (3) テーマ及び申請件数

テーマ名	補助事業 上限額(千円)	補助金基準額 (千円)	財政支援 期 間	申請可能 件 数
①地域活性化への貢献（地元型）	26,000	16,000	2～3年間	①又は② から1件
②地域活性化への貢献（広域型）	40,000	24,000		
③知的財産・コンテンツ関連教育の推進	26,000	16,000		③～⑥ から2件
④持続可能な社会につながる環境 教育の推進	30,000	18,000		
⑤実践的総合キャリア教育の推進	30,000	18,000		
⑥教育効果向上のためのICT活用教育 の推進	40,000	24,000		

**原則、最大3件まで申請可能**

申請の件数は、単独大学等での取組、複数の大学等での取組の別は問わずにカウントします。

なお、複数の大学等が共同で行う取組については、上記の申請可能件数とは別に更に1件申請することができます。

〔申請件数の考え方については、「現代的教育ニーズ取組支援プログラムQ&A（平成19年2月）」の「2. 申請の件数等」も参照してください。〕

## (4) 選定件数

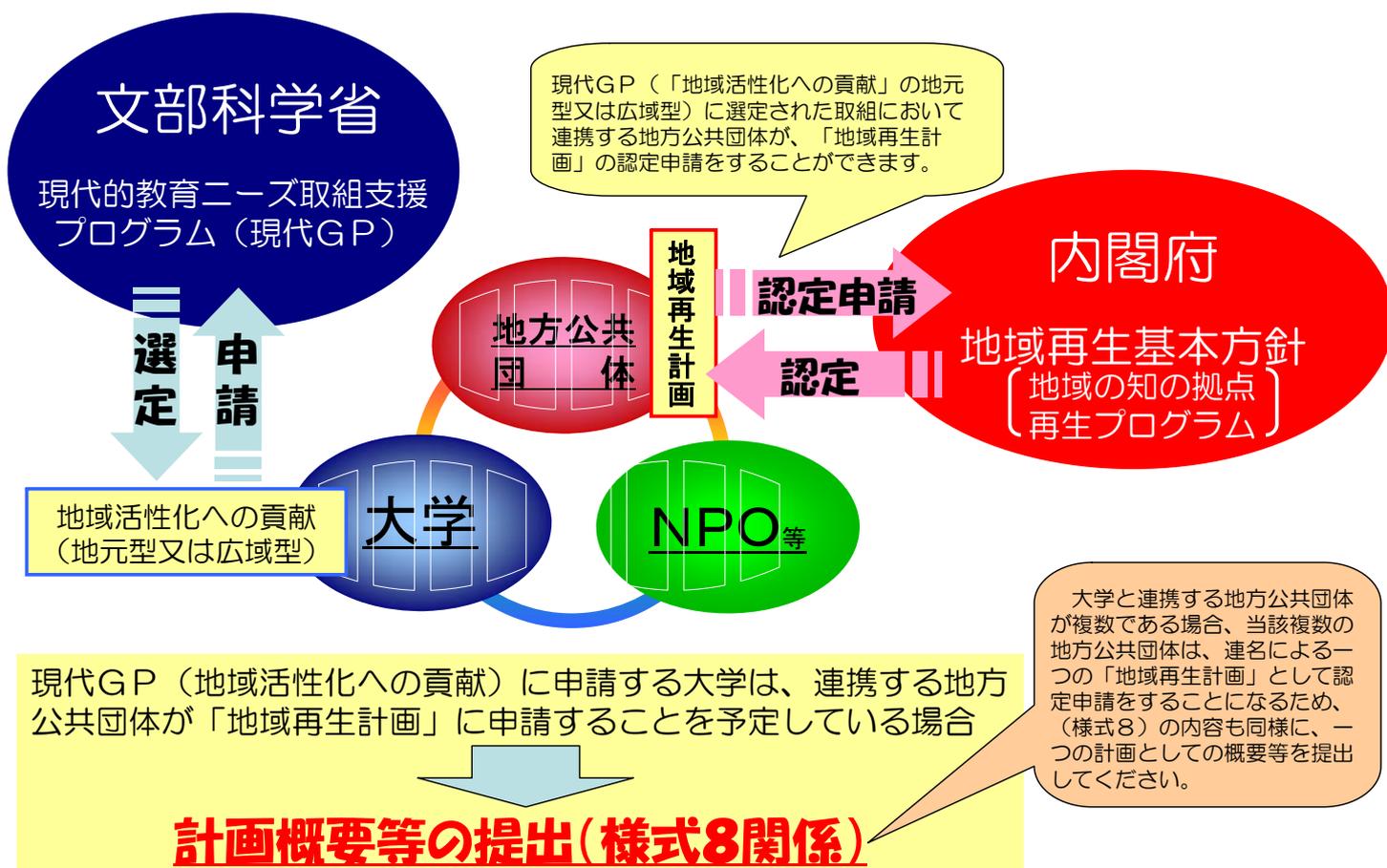
全体として110件程度



## (5) 募集の対象外となる取組

- ① その大学・短期大学・高等専門学校において、過去に現代GPを含む各プログラムで選定された取組と同一又は類似の取組（取組期間が終了したものも同様）
- ② その大学・短期大学・高等専門学校において、現代GP以外のプログラムに申請を予定している取組と同一又は類似の取組
- ③ その大学・短期大学・高等専門学校において、現代GPの他のテーマに申請を予定している取組と同一又は類似の取組  
（いずれか1つのテーマに申請してください。）
- ④ 大学院研究科単独で行う取組(テーマ「知的財産・コンテンツ関連教育の推進」を除く)  
（「大学院教育改革支援プログラム」を実施）
- ⑤ 専門職大学院で行う取組  
（「専門職大学院等教育推進プログラム」を実施）

## (6) 地域再生計画との連動について



## 5. 要件違反等

公正な審査を行うため、いくつかの要件を設定します。これらの要件に違反した場合は、審査の対象外となります。

**形式的要件違反**

**申請要件違反**

**申請内容の  
重大な誤謬等**

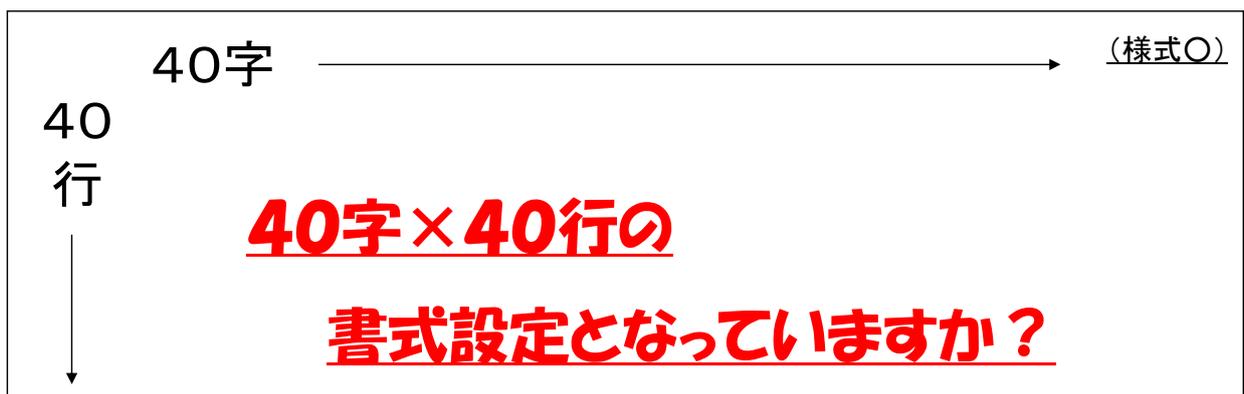


**審査対象外**

### (1) 形式的要件違反

公正な審査を行うため、以下の形式的要件違反があった場合は、審査対象外としますので、申請時には十分注意願います。

- ① **指定の様式（40字×40行）と異なる場合**  
(ただし、禁則処理により1行の文字数が40字を超過した場合を除く)



- ② 指定の文字数を超過した場合  
(超過の分量を問わない)

取組名称								
------	--	--	--	--	--	--	--	--

**全角20字以内となっていますか？**

取組の概要(400字以内)

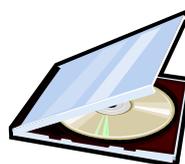
様式1

**400字を超過していませんか？**

- ③ 指定のページ数を超過した場合  
(超過の分量を問わない)

	(様式O)
	(様式O)
	(様式O)
<b><u>指定ページ数の超過はないですか？</u></b>	

- ④ 指定外の資料を添付した場合  
(添付の分量を問わない)



**指定外の資料の添付はないですか？**

## (2) 申請要件違反

- ① 募集の対象外となる取組に該当する取組の申請
- ② 規定の申請件数の範囲を超える申請

## (3) 申請内容の重大な誤謬等

申請書に、審査における判断の根本に関わるような重大な誤りや虚偽の記載、記載漏れ等の記載がある場合

※選定後であっても、申請書類の虚偽の記載等が判明した場合は、選定が取り消されることがあります。



## (4) 要件違反等の防止

- ・**形式的要件違反**
- ・**申請要件違反**
- ・**申請内容の誤謬等**

チェックシートの提出  
(1部)も忘れずに!



**チェックシート  
で確認**

	チェック欄
申請書は、A4縦型となっている。	○
1行あたりの文字数は40字に設定されている	○

申請書の作成にあたっては、以下の点などにも注意して下さい。

## 記載漏れ



- ・ 大学の名称の記載がなく、どこからの申請か不明
- ・ 取組の名称の記載がなく、何という取組か不明
- ・ 該当の有無を記載すべきところが無記入  
(該当がない場合は「なし」と記載)

## 申請部数・提出先



提出すべき部数等に注意

- ・ 特色GP：50部(大学基準協会へ)
- ・ 現代GP：60部(文科省へ)

## 記載の間違い

テーマ区分を間違っって申請

(例えば、「環境」で申請した  
かったのに、「知財」の番号  
を記入)

## 事業全体に係る申請予定額

複数年度(20年度以降)にわたる事業の申請額は、当該年度予定額の総額を年度別に記載



## 6. 取組名称等の公表について



### ①募集締切後の公表内容

申請大学等名、テーマ名(申請区分等)、**取組名を公表**

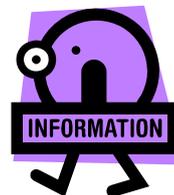
大学等名	テーマ名	取組名
……大学	地域活性化への貢献(広域型)	地域文化と学生の……

### ②選定後の公表内容

選定された取組の概要を公表



## 7. 選定後の情報提供について



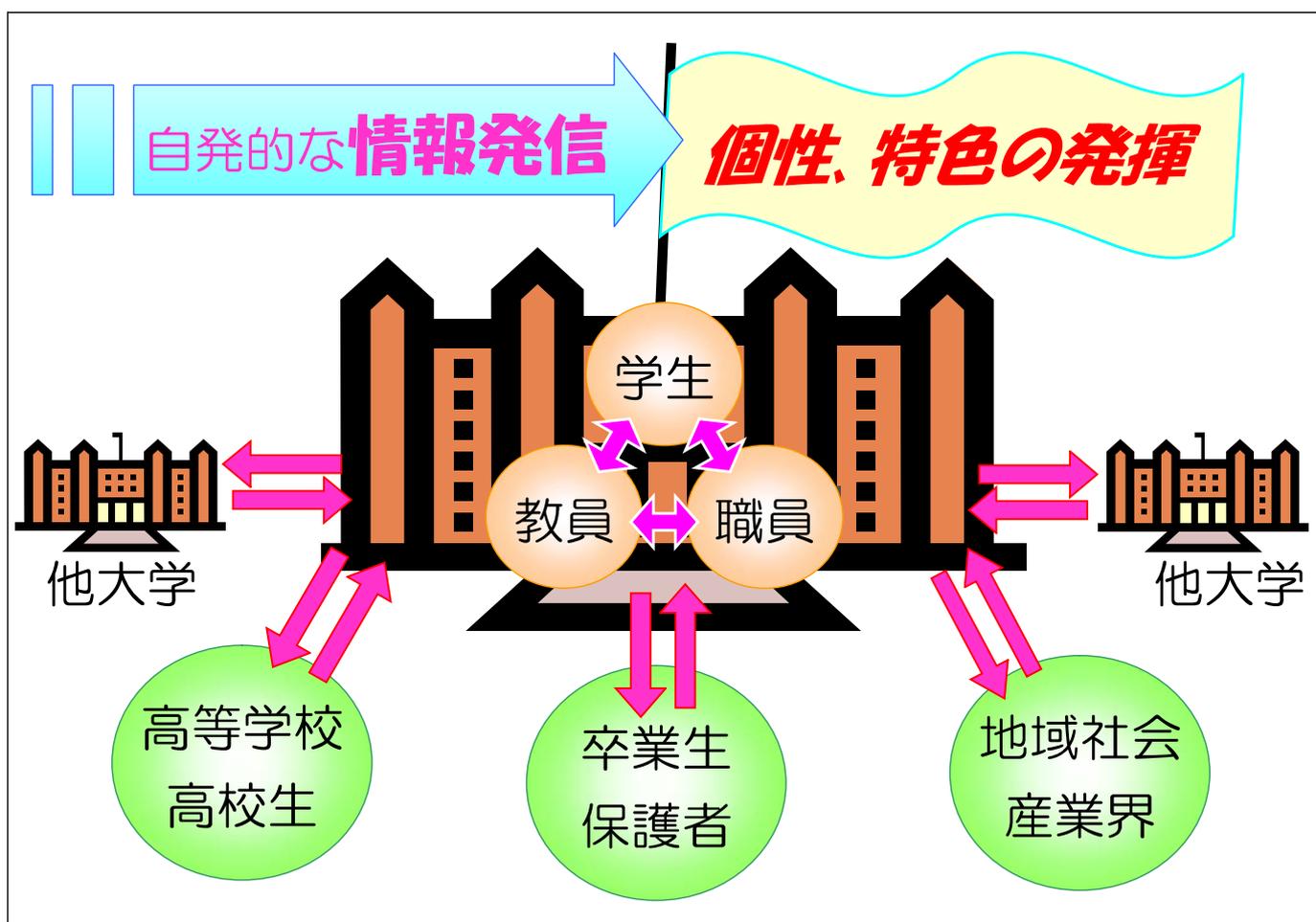
選定取組の公表・普及のため、積極的な情報発信を行っていただきます。

### ○選定大学等の自発的な情報発信

- ・Web上での選定取組の紹介
- ・シンポジウム・成果発表会等の開催等

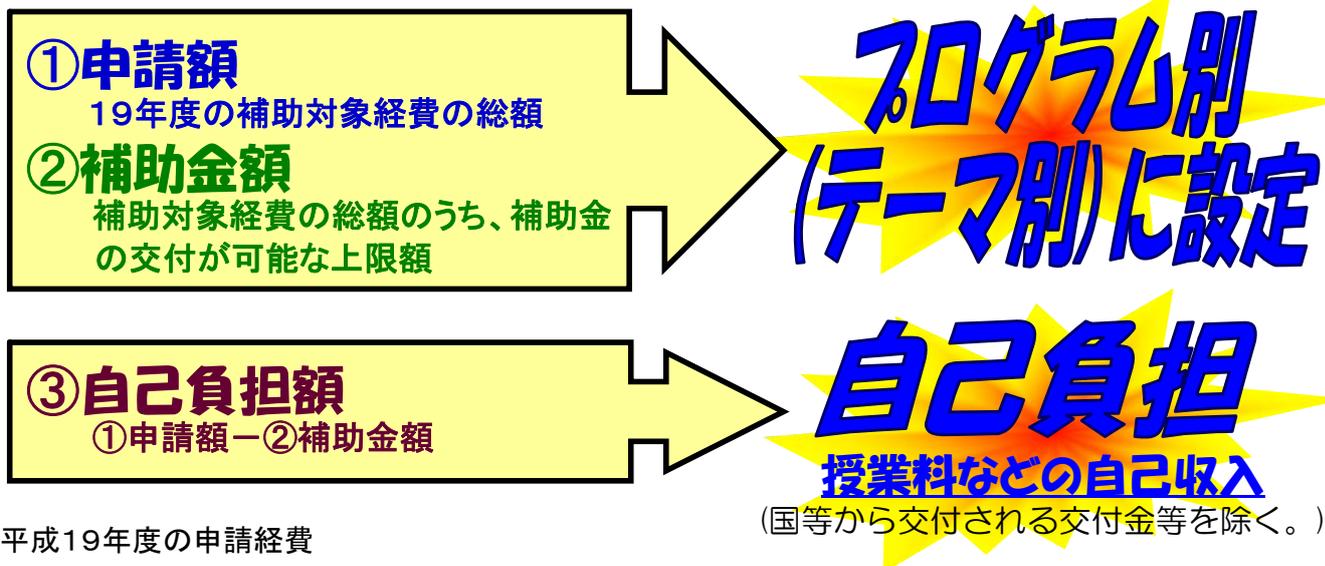
### ○文部科学省等による情報発信

- ・フォーラム(ポスターセッション・シンポジウム等)の開催
- ・事例集やWeb上での選定取組の紹介
- ・各大学等の開催するイベントを紹介する「特色GP・現代GPイベント～イノベーション&レポート」Web上での公開
- ・メールマガジン「大学改革GPナビ～Good Practice～」の発信



## 8. 財政支援について

### (1) 平成19年度申請額

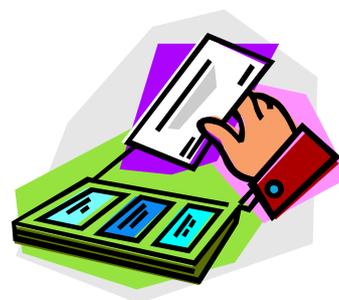


(1)平成19年度の申請経費

申請額	申請額の内訳	
	補助金額	自己負担額
① (千円)	② (千円)	③=①-② (千円)

### (2) 使用できる経費

#### 【基本原則】



- ① 選定された取組における教育活動に係る経費であること。
- ② 大学等における組織的・継続的な教育活動に係る経費であること。
- ③ 補助事業者が適正かつ明瞭に執行管理する経費であること。





## 【使用できる経費の内訳】

設備備品費	補助事業を遂行するに当たり必要な設備備品の購入、製造、改造、又は据付等に必要経費	設備備品・消耗品の区分は大学等の規程に基づく
旅費	補助事業を遂行するに当たり必要な旅費 (国内旅費、外国旅費、外国人招へい等旅費)	日当・宿泊費の単価は大学等の規程に基づく
人件費	○謝金 補助事業を遂行するための専門的知識の提供、情報収集、資料整理等について協力を得た人に対する謝礼に必要な経費 ○雇用等経費 本補助事業を遂行するために必要となる者(大学等の教職員を除く。)を雇用等する場合の給与等	人件費の単価は大学等の規程に基づく
事業推進費	本補助事業を推進するために必要な消耗品費、借料・損料、土地建物借料、印刷製本費、通信運搬費、雑役務費、会議費、委託費、交通費	



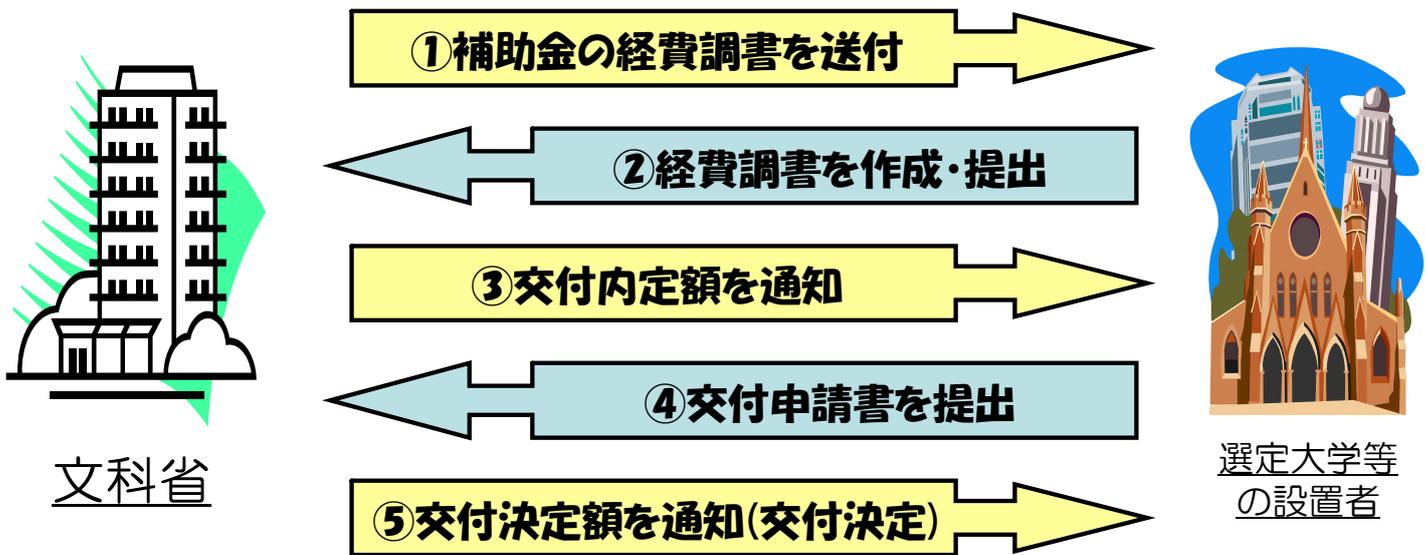
## (3) 使用できない主な経費

- ① **建物等施設の建設、不動産取得に関する経費、施設の改修に関する経費**  
〔ただし、本補助事業のために購入した設備・備品を導入することにより必要となる軽微な据付費等については使用できます。〕
- ② **大学等の教職員**（本補助事業により雇用され、専ら本補助事業に従事する者を除く）**の人件費**
- ③ 本補助事業の遂行中に発生した**事故・災害の処理**のための経費
- ④ その他**本補助事業の遂行に関係のない**経費  
(例えば、酒・煙草等)



## (4) 補助金の交付手続き

取組が選定された後に、以下のとおり補助金の交付の手続きを行います。



補助事業は選定日ではなく、**交付内定日から開始可能(予定)**

## (5) 初年度の経費の積算

平成19年度の事業経費の積算は、平成19年10月以降(概ね6ヶ月)に必要となる経費を計上



## (6) 補助事業者

大学、短期大学及び高等専門学校の**設置者**へ補助金交付

〔 設置者: 国立大学法人、公立大学法人、学校法人、  
独立行政法人国立高等専門学校機構、地方公共団体 〕

## (7) その他



選定取組数、財政支援額は、平成19年度予算の成立を前提としており、その内容如何により変更されることがあります。

# MEMO



# 問い合わせ先

## 特色ある大学教育支援プログラム

- ・ 申請書及び選定に関すること

財団法人大学基準協会

電話：03-5228-2020

03-5206-2676



- ・ 補助金その他に関すること

文部科学省高等教育局大学改革推進室

電話：03-5253-4111(代表)

内線3319, 3321

## 現代的教育ニーズ取組支援プログラム

- ・ 申請書、選定、補助金及びその他に関すること

(テーマ①～④)

文部科学省高等教育局大学改革推進室

電話：03-5253-4111(代表)

内線3319, 3321

(テーマ⑤、⑥)

文部科学省高等教育局専門教育課

電話：03-5253-4111(代表)

内線2992, 2502

